

ミラクルソル協会

工法の積極活用と技術向上を

仙台で技術講習会



廃ガラスをさまざまな用途の建設資材に再生させる「ミラクルソル工法」の技術講習会がこのほど、仙台市の仙台国際センターで開かれた。主催したミラクルソル協会の原裕理事長は約160人の参加者を前に、「ミラクルソルは、軽量盛土材や緑化材など計28工法が開発されている。国内外

で注目を集める工法であり、今回の講習会で技術力を高めてほしい」と述べ、同工法の積極的な活用と技術力の向上を呼び掛けた。

ミラクルソル工法は、ガラス廃材を原料に開発した新素材を環境土木や環境緑化、水環境といった幅広い分野に活用するもの。日本水大賞「未来開拓賞」をはじめとした各賞を受賞するとともに、テレビ・新聞といったメディアでも数多く取り上げられている。技術講習会では、原理事長が同工法の開発に取り組んだ理

由について、「地球温暖化が進む中、環境への負荷を軽減するため建設業としてできることは何かを突き詰めた」と説明。また「ミラクルソルは比重や吸水率の調整が可能であり、それによってさまざまな工法を生み出すことができる」と同工法の特徴をアピールした。

続いて、佐賀大学低平地沿岸海域研究センターの荒木宏之教授は、ミラクルソルを水質浄化に活用する研究成果を発表。水の透視度改善や大腸菌・クロロフィルの除去などに極めて優秀な性能を

示した点に言及した。特別講演では、東北地方整備局企画部の原田吉信震災対策調整官が「東北の復興に向けて」と題し、東日本大震災で初期からこれまでの対応状況を説明した。

長崎建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒854-0064
諫早市若葉町165-11
Tel 0957-25-5552 (代)
FAX 0957-25-5556
購読料 月額6,300円(税込)
日本専門新聞協会会員

■ホームページ■
<http://www.kensetsunews.co.jp>

●新聞発行日●
毎週
火・水・金・土曜
一週4回一

建設新聞社は頑張る建設業を応援します！